

教室日記<こころの天気図>発行・音田輝元

「時代区分は、歴史の物差し」

とは言っても・・・

<その気>にならなければ使えない

絵に描いた餅だ!



■歴史だって「たのしい学びを提案する」のが大原則!

今日の実験は、歴史の授業<お金と社会>です。お金の歴史だって、実験的にたのしく学ぶことができます。すでにあるデータをもとに、「誰もが納得する資料で、たのしく学べるように問題を構成することは可能」だからです。

とは言っても、誰もが簡単に<認識の法則性>を理解して問題が作れるというものではありません。<授業運営法や認識の理解>とともに、「この内容については、日本で一番良く知っている」ほどの一流の研究があつて初めて<授業書>として公表できるものだからです。

今日の<お金と社会>は、板倉聖宣先生(理学博士・日本科学史学会・会長)の著書をもとに、パワーポイント(音田編)を使いながら授業します。授業書は、一流です。気楽におたのしみ下さい。

|            |  |               |                                      |                  |                  |              |                 |               |
|------------|--|---------------|--------------------------------------|------------------|------------------|--------------|-----------------|---------------|
| 5          |  | 4             |                                      | 3                |                  | 2            |                 | 1             |
| 原始         |  | 古代            |                                      | 中世               |                  | 近世           |                 | 近現代           |
|            |  | 奈良            | 平安                                   | 鎌倉               | 室町               | 戦国           | 江戸              | 明昭<br>大平      |
|            |  | 800年          |                                      | 1200年            |                  | 1600年        |                 | 2000年         |
| ←<br>縄文・弥生 |  | 大化の改新<br>六四五年 | 京都に都ができる<br>七九四年<br>奈良に都ができる<br>七一〇年 | 鎌倉幕府の成立<br>一一九二年 | 鎌倉幕府ほうふ<br>一三三三年 | 応仁の乱<br>一四六七 | 関が原の戦い<br>一六〇〇年 | 明治維新<br>一八六八年 |



ずっと前

□「時代区分」の歌  
 縄文、弥生、奈良時代  
 平安、鎌倉 室町に  
 つづく戦国 江戸時代  
 近代開く 明治維新

「年号、暗唱唱歌」

1  
 大化の改新 むしごひき  
 (六四五年)  
 なんと(七一〇年) すてき  
 な 平城京  
 なくよ(七九四年) うぐい  
 す 平安京  
 いくに(一一九二年) つ  
 くるぞ 鎌倉で



2 いちみきさんさん(二三三三三

年) 北条氏

ひとのよむなしい(一四六

七年) 応仁の乱

天下をとろーと(一六〇〇

年) 関が原

イヤロッパ(一八六八年)

の には 明治維新

## ■私にとっての<科学教室版・授業運営法>とは・・・その①

先日、麦倉さんが企画(高砂市)している科学実験教室に参加してきました。とても参考になったので書いておくことにします。

\*\*\*

①**子ども達の評価は良くて**、<自由電子が見えたなら>(仮説実験授業研究会編)の授業書(元版)の素晴らしさを証明していました。

②**今回は**その授業書を、「わくわく科学教室に編集した音田プラン=1時間半プラン」で実験。授業書の簡略化にかなり大きな問題点があると痛感。次回に向けて、再度プラン改訂にチャレンジしようと思いました。

③**授業時間の制約がある**、わくわく科学教室では、科学教室用授業プランの作成が必要。今後も<批判覚悟で継続する>つもりです。

④**わくわく科学教室**では、<パワーポイント(PP版)の活用が有効>。これからも、科学教室用授業プランと一体化した、PP版編集にも精力的に取り組みたいと思います。(佐藤和次様の指導が前提)

⑤**わくわく科学教室**の<講師>は、一期一会で精神で勝負する人という自覚を持って、自己研鑽してゆきたい。「出会いの言葉=つかみの一言・認めるフレーズや<ありがとう>をいつどこで・声の強弱(大小)」など。自分のものになるまで繰り返し、たのしく自己研修したいと思います。

⑥**わくわく科学教室に来る**子ども達(保護者)は、100%お客様精神で<おもてなし>。勿論90%は、授業内容で<おもてなし>が原則。

⑦<**授業運営絶対禁止言葉**>の研究。気持ちよく授業に参加できる言葉とは、どんな言葉?上から目線の言葉は、100%厳禁です!(音田大反省!)

⑧**予想分布集計(公開)と感想文**。どちらも、わくわく科学教室では限界があることが前提。たのしい気持ちになるには?で考えたい。一月に1回出会う子ども達の気持ちなんて?です。だから爽やかに!で対応したい。感想文は自分を元気にするためにで充分。これからも、「授業内容の精度を上げることに全力投球したい!」と思いました。(音田輝元)